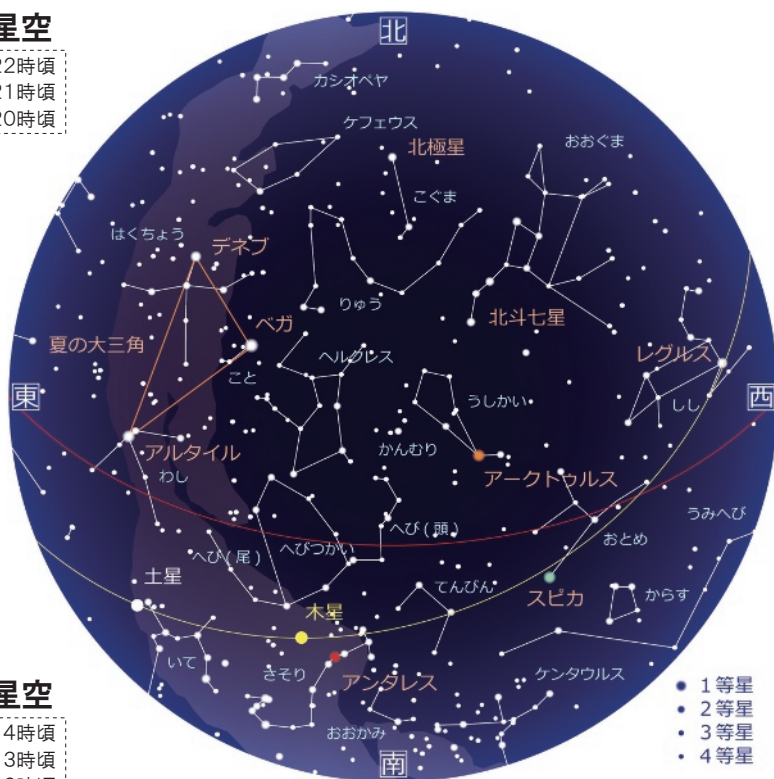


星空ガイド 6月16日～7月15日

よいの星空

6月16日22時頃
7月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

6月16日 4時頃
7月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
6	16	日	4:44	19:12	18:08	3:46	12.7
	21	金	4:45	19:14	22:18	7:58	17.7
	26	水	4:46	19:15	0:23	12:35	22.7
7	1	月	4:48	19:15	3:13	17:38	27.7
	6	土	4:50	19:14	8:21	22:10	3.3
	11	木	4:53	19:13	13:54	0:33	8.3
	15	月	4:55	19:11	17:56	3:12	12.3

※惑星は2019年7月1日の位置です。

土星が衝(7/10)

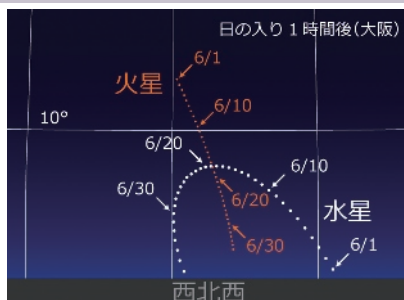
土星が見ごろになってきました。土星は太陽系の中の惑星のひとつで、特に環を持っていることで大変有名です。肉眼では環は見えませんが、0等級と明るい星なので、大阪の街中でもすぐに見つけることができるでしょう。

この土星が、7月10日には衝の位置に来ます。衝というのは、地球から見たときに、ちょうど太陽と反対側の位置に来ることをいいます。太陽と反対側に見えるわけですから、日没とともに東の空に現れ、一晩中土星を観測することができます。

水星が東方最大離角

水星は最も太陽に近いところを回っている惑星のため、太陽からあまり離れた場所には見えません。しかし6月24日、水星が東方最大離角となります。この日の前後は、水星が太陽から東側に最も離れる時期となり、日の入後、比較的に見やすくなります。それでも水星の地平線からの高さは、日の入り1時間後には10度以下とかなり低くなってしまいます。この時間では辺りもまだ薄明るいいため、見つけるのは大変です。

なお近くには、火星も見えています。特に6月18日の夕方には、水星と火星が約0.3度まで大接近します。



水星と火星の動き

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
6	16	日	準惑星ケレスの食 月と木星がならぶ
	17	月	○満月(18時)
	18	火	夕空の低空に水星と火星が接近
	19	水	月と土星がならぶ(南米などで土星食)
	22	土	夏至(太陽黄経90°)
	23	日	月が最遠(404,548km)
	24	月	水星が東方最大離角(夕空に見やすい)
	25	火	●下弦(19時)

月	日	曜	主な天文現象など
7	2	火	半夏生
	3	水	●新月(4時)/南東太平洋などで皆既日食(日本では見られない)
	4	木	夕空の超低空に月と水星と火星がならぶ/火星食(14時46分~15時33分)
	5	金	月が最近(363,726km)/地球が遠日点通過
	7	日	小暑(太陽黄経105°)
	9	火	●上弦(20時)
	10	水	土星が衝
	13	土	月と木星がならぶ
	14	日	冥王星が衝
	15	月	海の日

江越 航(科学館学芸員)